

一般社団法人 HPCI コンソーシアム第1回社員総会議事録

[日時]平成 24 年 6 月 6 日(水) 16:00~18:05

[場所]東京大学生産技術研究所 An 棟3階大会議室

[出席理事]宇川彰(理事長)、藤井孝藏(副理事長)、石川裕

[出席監事]小林広明

[事務局]藤井孝藏

[定足数等]

正副議長選出前:総社員数29人(定足数15人)、出席27人(過半数14人)

正副議長選出後:総社員数32人(定足数17人)、出席31人(過半数16人)

本総会は定足数を満たしており成立した。

【1. 定足数の確認・開会宣言】

- ・ 司会進行役の石川理事により総会の開会が宣言され、資料の確認が行われた。本会は定足数を満たしており成立している旨報告があった。

【2. 議長・副議長の互選】

- ・ 司会進行役により議長・副議長互選の手続きが行われた。議長1名、副議長2名を一括して選任する方法が承認され、議長に宇川彰氏、副議長に藤井孝藏氏、平尾公彦氏が選任された。
- ・ 司会進行役より、定款第6条第2項なお書きの規定に基づく追加の会員について理事会において加入審査を行うため、5分間休憩するとの案内があった。

—休憩—

- ・ 理事長より、上記の追加の会員の審査について、3名の正会員の追加加入を認めるとの報告があった。
- ・ 議長より、会員3名の追加により総社員数32名、出席30名、議決に必要な過半数は16名との報告があった。(事務局註:審議事項が始まる前に出席者は31名となった(過半数は16名で変わらず)。)
- ・ 議長より、アソシエイト会員をはじめとする本会のオブザーバについて紹介があり、開かれたコンソーシアムとして、今後とも計算科学コミュニティからの多くの参加を期待するとの発言があった。

【3. 議長挨拶】

- ・ 議長より議長就任の挨拶があった。HPCI 計画の立案の経緯から今日に至るまでの経過や、計算科学コミュニティの議論の重要性などについて発言があった。

【4. 文部科学省挨拶】

- ・ 文部科学省・森本審議官から挨拶があった。祝辞とともに HPCI 計画を通しての日本の復興、モノ作りのイノベーションへの期待などが述べられた。

【5. HPCI 計画の実現のための関係機関の取組み】

- ・ 理化学研究所計算科学研究機構・片岡洋企画部長より HPCI 計画の実現のための

関係機関の取組みについて説明があった。

【6. 報告事項】

[報告事項第1号]

- ・ 理事長が法人設立までの時間的な経過、設立時社員の行った議決、会員の加入状況などについて報告した。

[報告事項第2号]

- ・ 理事長が法人の事務運営体制について報告した。

【7. 審議事項】

[審議事項第1号]

- ・ 理事長より設立時貸借対照表について説明があった。冒頭、表題の誤記が社員から指摘されたが、単純な誤記である旨回答があり、内容説明が行われた。
- ・ 審議事項第1号は承認された。

[審議事項第2号]および[審議事項第3号]

- ・ 理事長より正会員の会費、事業計画および予算について説明があった。
- ・ 会費については、法人活動を維持していく上で真に必要な事項を検討し、額を決定した旨説明があった。
- ・ 主な質疑応答は下記の通り。
- ・ [社員質問]会員数が増えたとき、会費は見直すか？
- ・ [理事長回答]現時点で会員増について見通しが立たないので、見直しを行うとまで断言することはできない。
- ・ [社員質問]会員増加のための取組みをしていくのか？
- ・ [理事長回答]旧国研、産業界でシミュレーションを業としている者に声をかけている、また、アソシエイト会員として個人加入を奨励している。各会員からの働きかけにも期待したい。
- ・ [社員質問]計算資源を出している機関から会費を出すことはいかがなものかという意見がある。また、会費が高額で役員会マターとなり支払いが難しい。会費について従来のがが国の慣行とは異なるのではないか？
- ・ [理事長回答]わが国の慣行に従うべきという意見はこれまでなかった。現行の会費案では、事業計画の実施にあたって、国の委託事業と連携して進めて行く。また、コンソーシアム自体が資源提供に対する受益者ではないので、会費の問題は別に考えるべきである。
- ・ [他の社員の意見]国立大学の情報基盤センターは対価を利用者から徴収するビジネスであり、そのビジネスに資する費用として会費を出せる。HPCI に対する資源提供と、HPCI コンソーシアムへの参加は異なる事柄である。
- ・ [社員質問]会員増加のための取組みに関してユーザコミュニティを代表する者を拡大解釈すれば、ハードウェアベンダーやソフトウェアベンダーも含まれるのではないか？
- ・ [理事長回答]ハードウェアベンダーまで考えるかについては、他の会員の意見も聞

く必要がある。

- ・ [他の社員の意見]民間をどんどん入れるべきではないか。
- ・ [理事の意見](アソシエイト会員に限っての質問であることを質問者に確認の上、)ハードウェアベンダーを含めて問題ないのではないか。
- ・ [社員質問]HPCI システム構成機関・ユーザコミュニティ代表機関の二面性がある組織は加入の際どう考えるべきか？
- ・ [理事長回答]理事長より、同じひとつの組織の場合は、例えばどちらかを選んでいただき、もうひとつアソシエイト会員として参加してもらうなどが考えられる、との回答があった。
- ・ 審議事項第2号は承認された。
- ・ 審議事項第3号は承認された。

[審議事項第4号]

- ・ 理事長より役員人事について説明があった。
- ・ 議長より一括審議の対象としたい旨提案があり、口頭により承認された。
- ・ 審議事項第4号は承認された。

[質疑応答・意見交換]

- ・ 社員より、産業界からの HPCI 利用申請に関する希望が示された。
- ・ 社員より、HPCI の課題公募における利用期間と追加公募について意見が示された。理事長から、本件について提言として文書を出す場合には、慎重に扱う旨の発言があった。

[その他]

- ・ 今回の社員総会の議事録の署名人として、ユーザコミュニティ代表機関から計算科学振興財団 安井氏、HPCI システム構成機関から東京大学物性研究所 家氏を選出した。

【8. 閉会宣言】

以 上